



2010年度ロータリー世界平和 フェローシップ申請書

平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター

プログラムの目標

平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センターは、国際理解と世界平和を推進するというロータリー財団の使命を支えています。

ロータリー・センター・プログラムの目的は、次の通りです。

- 平和、親善、紛争の原因と世界理解の問題に関する研究、指導、出版、実地経験を増進し、支援する
- 現場で活動する人々と学者との交流を通じて、能力、知識、技能を向上させながら、平和と寛容の文化を目指して努力するよう人々を鼓舞する
- 平和と紛争解決の分野において、国際的で高度な教育の機会を提供する
- 世界理解と平和を達成するため、ロータリー財団およびロータリアンが、効果的に人々に寛容の精神と協力を推進する手段を提供する

候補者は、申請する前に上記の目的を深く考慮した上で、自分がどのようにプログラムの目的を支えることができるかを説明する小論文を用意し、面接に備えてください。候補者は、特に社会奉仕や人道的国際奉仕への熱意を示すとともに、平和のために尽くしている人物が求められています。

候補者は、次の2種類の世界平和フェローシップ・プログラムから選択することができます。

修士号取得プログラム	専門能力開発修了証プログラム
7大学、6センター	1大学、1センター
15～24カ月コース	3カ月コース
各大学によって留学期間が異なる	年間、1月～4月と6月～8月の2コースが提供される
年間、1センターにつき10名までの新フェロー、合計60名まで	年間、各コースにつき25名までの新フェロー、合計50名まで
夏季休暇中、2～3カ月間のインターンシップ	カリキュラムの一環として2～3週間の実習
明日のリーダーを育成	今日のリーダーを強化

ロータリー・センター・プログラムは、国際関係、平和、および紛争解決の分野でのキャリアを選択し、すでにこれらの分野で経験を積み、世界を真の意味で良い方向に変えてゆくことのできる個人を対象としています。例えば、ジャーナリズム、教育、行政部、非政府機関、外交官、調停、軍隊において活動している人は、ロータリー世界平和フェローシップの有力な候補者となります。

各校の入学要件と最新のカリキュラムについては、申請者本人が各大学のウェブサイトで確かめる必要があります。ロータリー・センターおよび大学のリストは、本申請書の5ページ目に掲載されています。

ロータリー世界平和フェローシップの申請者には以下の条件が求められます。

- 職業や学業における業績、個人的活動、社会奉仕活動を通じて、国際理解と平和に対する熱意と献身が明らかに示されていること
- 少なくとも修士号または相当の経験を有し、優秀な成績を取っていること
- 現在、フルタイムで中級職や上級職に就いており、関連分野における職務を少なくとも5年経験していること（専門能力開発修了証プログラム）
- 関連分野において合計最低3年間のフルタイムの職務経験を有していること（修士号取得プログラム）
- 第二外国語に精通していること（修士号取得プログラム）、または英語が堪能であること（専門能力開発修了証プログラム）
- リーダーシップを執る優れた能力を備えていること

学位を取得したばかりの申請者は、一般的に世界平和フェローシップに適した候補者とはみなされていません。

上記の条件を確実に満たしていると思われる方は、この申請書を用い、申請手続きを進めてください。

説明

本申請書とともにすべての補足的書類をロータリー・クラブ（できれば申請者本人の本籍または現住所がある地域、あるいは通勤、通学している地域のクラブが望ましい）に提出してください。申請の締切日については、最寄りのロータリー・クラブにお問い合わせください。推薦クラブや派遣地区のロータリアンが任意で行う個人面談の準備もしておくべきです。各ロータリー地区から推薦を受けた申請書がロータリー財団に送られ、世界競争制に基づく選考審査を受けることになります。本申請書式ならびにその他の情報は、国際ロータリーのウェブサイト (www.rotary.org/rotarycenters) から入手することができます。

申請書を記入する際の言語

世界平和フェローシップ申請書は、世界競争制に基づく選考審査を受けるため、地元の地区に日本語で提出する場合でも、別に英語で記入しなければなりません。また、本申請書の5ページにアルゼンチンのサルバドル大学を志望大学として挙げた場合は、必要事項のすべてをスペイン語で記入した申請書も併せて提出する必要があります。

日本の国際基督教大学を希望する場合は、申請書を英語で記入してください。自分の日本語能力を審査員に示したいという場合には、日本語の小論文をあわせて提出することができます（ただし、これは任意となります）。

小論文

申請書と共に小論文を提出する必要があります。各文書の1ページ目の右上に、申請者の氏名と推薦ロータリー・クラブ名を記入してください。小論文には以下の主題について記述し、合計3ページ以内にまとめてください。

1. 自分の人生における重要な出来事、学業への関心と抱負、職務とボランティア経験、およびキャリアの目標を説明する自己紹介文を書いてください。主な関心と活動の要約も含めてください。また、地域社会や奉仕に関連した活動、ならびに申請者がリーダーとして関わった活動を特筆してください。
2. ロータリー世界平和フェローシップに関心を持った理由を述べ、目的を詳しく説明してください。この中で、志望する研究および第5ページに記入した第1志望と第2志望のセンターを選択した理由、これらのセンターにおいて特定の課程を履修する理由が何であるかを説明する必要があります。ロータリー・センターを卒業することが、申請者のキャリア目標とどのように関連し、キャリア目標が世界理解と平和というロータリー財団の使命をどのように支え、また、申請者の技能と履歴をロータリー財団の使命の遂行にどのように生かすことができるのかを、詳しく説明してください。

小論文を、第5ページに記入した志望センターが使用する言語に、申請者本人が翻訳しなければなりません。

履歴書

申請書には必ず履歴書を添えてください。

語学力証明書

第5ページであなたが志望順に選択した各センターで使われている言語につき1部ずつ、言語力を証明する「語学力証明書」を提出する必要があります。母国語が話されている国のセンターのみを希望する場合であっても、チュラロンコン大学のロータリー・センター以外を志望している場合は、第2外国語に堪能であることが求められ、従ってこの書式を提出する必要があります。

本申請書第9ページの「語学力証明書」のセクションIに、読む、書く、話す、聞くに分けて自分の能力を示してください。あなたの語学力をよく知り、その言語を母国語とする人（できれば語学教師、または元教師）に、セクションIIを記入してもらってください。追加用紙が必要な場合は、複写してご使用ください。

推薦書

推薦書は、3通提出する必要があります。推薦書は、あなたの学業、職業、および（または）ボランティア/奉仕における活動や業績をよく知っている人物が記入するものです。本申請書の第5ページでチュラロンコン大学のロータリー・センターを志望した場合、1通はあなたの現在の雇用主に記入してもらわなければなりません。推薦書式は、本申請書式の第11～16ページにあります。推薦書式への記入を求める際には、ロータリー世界平和フェロー・プログラムの目的について説明してください。

成績証明書および試験結果

高校卒業後に在籍したすべての単科大学、総合大学の正式な成績証明書を提出してください。第5ページに記入した志望センターが必要と定めるその他の試験（GRE=Graduate Record Examination、TOEFL=Test of English as a Foreign Language、IELTS=International English Language Testing System など）の得点報告書もあわせて提出しなければなりません。入学にどのような試験が必要とされるかは、申請者自身が個々の大学にお問い合わせを確認する必要があります*。特定の入学要件については、各大学のウェブサイトで確かめてください。必要とされている試験をまだ受けてはいないが登録は済ませている場合は、申請書とともに登録済みであることの証明を提出してください。試験の結果は、9月1日までにロータリー財団に必着しなければなりません。必須の試験結果を添付せずにロータリー財団に送られた申請書については、世界競争制選考委員会による審査の対象とはなりません。

*ロータリー財団では、米国の大学を志望した申請者全員に、GREの試験結果を提出するよう義務づけています。

留意事項: 低所得国出身の申請者は、必須試験の受験料など、申請手続に必要な費用の支弁を受けられる場合があります。この補助金の受領資格の詳細については、ロータリー地区に確認してください。



2010年度ロータリー世界平和 フェローシップ申請書

平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター

申請の際のチェックリスト

申請書を提出する際、すべての必要書類が揃っていることを確認し、必要書類のコピーを控えとして保管してください。

申請者側が用意する書類 (各ロータリー・センターの具体的な要件は、下表で確認してください)

- 所要事項をすべて記入した英語による申請書
- 所要事項をすべて記入したその他の言語による申請書 (該当する場合)
- 署名と日付入りの申請者の誓約書
- 語学力証明書 (申請者が記入するセクションI)
- 語学教師による記入と署名入りの語学力証明書 (セクションII)
- 推薦書3通
- 英語による小論文
- その他の言語による小論文 (該当する場合)
- 履歴書
- 大学の成績証明書
- TOEFLまたはIELTS の得点報告書 (該当する場合)
- GREの得点報告書 (カリフォルニア大学バークレー校、デューク大学、ノースカロライナ大学チャペルヒル校を志望する場合)

ロータリーが用意する書類

- 所要事項をすべて記入した署名入りのロータリー・クラブによる推薦書
- 所要事項をすべて記入した地区委員会面接報告書
- 署名入りの地区による推薦書

ロータリー・センター申請書の要件

ロータリー・センター	授業で使用される言語	語学力の条件	推薦書	必須とされる学位	GRE	IELTS	TOEFL	ベルリッツ
チュラロンコン大学	英語	英語	3通、うち現雇用主から1通	学士号またはこれに相当する職務経験	不要	不要	不要	不要
デューク大学*	英語	英語+1	3通	学士号	不要	7	インターネット:83点 コンピュータ:213点 筆記:550点	不要
国際基督教大学	英語と日本語	英語+1	3	学士号	不要	必須	必須	不要
サルバドル大学	スペイン語	スペイン語+1	3	学士号	不要	不要	不要	必須(選ばれた場合)
ブラッドフォード大学	英語	英語+1	3	学士号	不要	6.5	インターネット:94点 コンピュータ:240点 筆記:580点	不要
カリフォルニア大学バークレー校	英語	英語+1	3	学士号	Verbal:650点 Quant:710点 Writing:5点	不要	インターネット:68点 コンピュータ:230点 筆記:570点	不要
ノースカロライナ大学	英語	英語+1	3	学士号	総合1000点以上**	不要	インターネット:79点 コンピュータ:213点 筆記:550点	不要
クイーンズランド大学	英語	英語+1	3	学士号	不要	6.5	インターネット:90点 コンピュータ:237点 筆記:570点	不要

*デューク大学とノースカロライナ大学のロータリー・センターを志望する申請者は、デューク大学のみを志望する場合でも、審査に不利になることのないよう、GREの得点報告書の提出が奨励されています。

**ノースカロライナ大学志望者は、各学部大学院の求める得点を調べてください。

国際問題研究のためのロータリー・センター

先に進む前によくお読みください

ロータリー財団は、世界中の8校の一流大学と提携して、7つの国際問題研究のためのロータリー・センターを設立しました。毎年、各センターでは、国際関係、平和、および紛争解決専攻の修士課程で最高2年間にわたり研究に従事するプログラムと、最高3カ月間にわたり平和と紛争解決の分野の専門的職業開発プログラムで学ぶ世界平和フェローが新しく選ばれます。

各ロータリー・センターのカリキュラムとプログラムについての詳細は、RIのウェブサイト (www.rotary.org/rotarycenters) に掲載されています。申請者は、各センターの研究プログラムと入学資格基準が自分に適切であるかどうかを判断するために、これらのセンターについて入念に調査する必要があります。第一志望センターの空欄には「1」を、第二志望センターには「2」を、第三志望センターには「3」をそれぞれ記入してください。志望順位を付ける際には、次の条件に留意してください。

- 提携大学における授業で使用される言語に堪能でなければなりません。母国語が話されている国のセンターのみに申請し、チュラロンコン大学のロータリー・センター以外を志望している場合も、第2外国語に堪能であることが求められます。国際基督教大学(東京)では、必要に応じて日本語研修が提供されますが、授業は英語で受けることができます。また、チュラロンコン大学のロータリー・センターでは、すべての授業が英語で行われます。
- 日本国籍の人(または日本に在住しているが、日本以外の国で学業を終えた人)が国際基督教大学のロータリー・センターを志望する場合と、タイ人(またはタイ在住の人)がチュラロンコン大学のロータリー・センターを志望する場合を除き、母国または申請を行う国にあるセンターを選択することはできません。
- フェローシップ年度の開始される前に既に在籍している大学を選択することはできません。フェローシップ期間が開始する前に、指定された大学で研究を始めるフェローは、奨学金の受領資格を失うことになります。
- フェローは、指定されたロータリー・センターが定めるスケジュールに従って勉学を開始しなければなりません。北半球のロータリー・センターにおける修士号プログラムは、7月、8月、あるいは9月に開始されます。南半球のロータリー・センターにおける修士号プログラムは、2月あるいは3月に開始されます。専門能力開発修了証プログラムを提供するロータリー・センターは、毎年、1月と6月にプログラムが開始されます。
- 世界平和フェローシップが授与された場合、授与の通知を受け取り次第、直ちにロータリー・センター提携大学へ、直接、学位プログラムへの入学許可を申請します。入学許可を取得できなかった場合は、ロータリー世界平和フェローシップは無効となります。ロータリーによる選出は、志望大学の修士課程への入学を保証するものではありません。また、フェローシップ申請者の選考が開始される前に提携大学の入学許可を取得していた場合でも、それでああなたがロータリー世界平和フェローとして選ばれることが保証されるわけではありません。チュラロンコン大学のロータリー・センターに指定された世界平和フェローに限っては、入学許可を申請する必要はありません。

____ チュラロンコン大学(タイ、バンコク)
(3カ月プログラム)

指定希望(希望順位を記入してください) ____ 1月~4月コース ____ 6月~8月コース

____ デューク大学およびノースカロライナ大学/チャペルヒル校(米国、ノースカロライナ州)
(21カ月プログラム)

指定希望:

デューク大学

ノースカロライナ大学、志望学部/科: _____

____ 国際基督教大学(日本、東京)
(22カ月プログラム+任意の2カ月間集中語学研修)

____ サルバドル大学(アルゼンチン、ブエノスアイレス)
(18カ月プログラム + 任意の1カ月間集中語学研修)

____ ブラッドフォード大学(イギリス、ウェスト・ヨークシャー州)
(15カ月プログラム)

____ カリフォルニア大学バークレー校(米国、カリフォルニア州)
(21カ月プログラム)

志望学部/科: _____

____ クイーンズランド大学(オーストラリア、ブリスベン)
(16カ月プログラム)

ロータリー財団管理委員会は、上記の7つのセンターのいずれかに申請者を指定する権利を留保します。



2010年度ロータリー世界平和 フェローシップ申請書

地区の専用欄

地区番号 _____

平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター

留意事項：申請は、最寄りのロータリー・クラブを通じて行ってください。直接ロータリー財団へ提出された申請書は、審査の対象とはなりません。申請書の締切日と手続きについては最寄りのクラブにご相談ください。申請書には、各セクションに必要な事項をすべて記入し、署名した上で、小論文、語学力記入用紙、推薦書、成績証明書、試験結果を添えます。申請書に記入漏れがあったり、必要書類が添付されていない場合は、審査の対象とはなりません。ローマ字でわかりやすくはっきりとお書きください。また、略字の使用は避けてください。

申請書類をホチキスで留めたり、綴じたりしないでください。

氏名

姓 _____ 名 _____

男 女 生年月日 (任意) : _____

国籍 _____ 出生国 (前記と異なる場合) _____

連絡先 (住所は留学前と留学後の郵送先を記入のこと)

番地 _____

市町村 _____ 都道府県 _____

国名 _____ 郵便番号 _____

電話番号 _____ 代替の電話番号 _____

ファックス _____ Eメール _____

緊急連絡先 (氏名、関係、住所、電話番号、Eメール)

ロータリー世界平和フェローシップについて、どこで知りましたか。

申請者本人に関する情報

関連分野における有給あるいは無給の職務経験の合計年数： _____

申請書には必ず最新の履歴書を添えてください。この履歴書には、以下の情報が記入されていなければなりません。

- 以下を含むこれまでの全職歴
 - 組織名およびその所在地
 - 雇用の開始日と終了日
 - 雇用形態（常勤、パート、有給、無給）
 - 職位・職名と任務内容の簡単な説明
- 以下を含む高校卒業後の全学歴
 - 学校・教育機関名および所在地
 - 在籍の開始日と終了日
 - 取得学位（文学士号、理学士号、文学修士号、理学修士号、博士号など）
 - 研究分野
- 以下を含む奉仕活動の概説
 - 組織名およびその所在地
 - 参加の開始日と終了日
 - 役割と活動内容の簡単な説明

海外での経験について

これまで居住あるいは留学したことのある国をすべて挙げてください。希望留学年度前に、あなたが居住または勉学する予定の国も記入してください。

国	州/県	滞在開始日	滞在期間	訪問または居住の目的

語学力について

母国語 _____

母国語以外の言語に関するあなたの能力を1から5段階（1=基礎能力、5=堪能）に分けて評価してください。留意事項：第5ページにあなたが選択したセンターで使用されるすべての言語に関し、語学力証明書を記入する必要があります。母国語が話されている国のセンターのみを選択した場合でも、チュラロンコーン大学のロータリー・センター以外を希望している場合は、少なくとも母国語以外の言語1つに関する語学力証明書を記入する必要があります。

外国語	話す能力	聞く能力	書く能力	読む能力

語学力証明書

(タイプし、追加部数を必要とする場合は、複写したものを使用してください)

セクションI — 申請者が記入すること

申請者氏名 _____

地元ロータリー・クラブ/推薦者のロータリアンの住所と氏名

本証明書の対象となるロータリー・センターで使用される言語 (該当する場合) _____

この書式に記された情報を入手する権利を 放棄します 放棄しません (どちらか一つに印を付ける)

申請者の署名

日付

1. 当該言語を使った高校卒業以降の正規の研修について、新しいものから順に簡潔に記入してください。

在学期間 (月/年)	教育機関名	平均時間数 (1週につき)	成績 (該当する場合)

2. 当該言語を使った研修および経験について簡潔に述べてください。仕事やボランティア活動を通して、この言語をどの程度使用したことがあるかを述べてください。

3. 当該言語が使われている国でフェローシップが授与されることになった場合、出発前に、さらにどのような語学研修を受けたいと考えていますか。

4. 母国語が英語ではない申請者のうち、オーストラリア、イギリス、米国、または日本 (日本語を話さない申請者のみ) への留学を希望する申請者は、「外国語として英語のテスト (TOEFL)」を受けなければなりません。TOEFLの公式成績証明書 (スコア) を記入済みの申請書に添えて提出するか、2009年9月1日までにロータリー財団 (institutional code 9386) に届くよう、直接送付の手配をしてください。TOEFLの登録、受験についての詳細は、ウェブサイトwww.toefl.orgをご覧ください。米国のTOEFL事務局まで電話 (+1-609-771-7100) でお問い合わせください。

セクションII—語学教師が記入すること (タイプしてください)

1. どのような立場で、いつから申請者をご存知ですか。

2. 申請者に対する評価は何に基づいていますか。 現在の授業内容 以前の授業内容 その他 (明記してください)

3. 以下に申請者の現在の語学力を評価してください。

	優	良	可	不可
読む能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
書く能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
聞く能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
話す能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4. 申請者が現在の語学力で修士課程プログラムを履修できるかどうかについて意見を述べてください (該当する場合)。申請者の語学力が不十分な場合、どのくらいの期間、語学力の訓練を積み必要能力を身につけることができると考えますか。

氏名 肩書または職位

機関名 機関の所在地

電話 ファックス

Eメール

署名 日付

推薦書式 (タイプしてください)

セクションI — 申請者が記入すること

申請者氏名 _____

地元ロータリー・クラブ/推薦者のロータリアンの住所と氏名

本証明書の対象となるロータリー・センターで使用される言語 (該当する場合) _____

この書式に記された情報を入手する権利を 放棄します 放棄しません (どちらか一つに印を付ける)

申請者の署名

日付

セクションII — 教諭あるいは勤務先の雇用主/上司または専門職務の同僚が記入すること

留意事項: 質問に対して回答できない場合、質問の下の空欄に「評価できない」とご記入ください。

1. 申請者をどのようにして知りましたか。

2. 国際関係、平和、紛争解決分野に対する申請者の熱意はどの程度のものですか。

3. ロータリー世界平和フェローシップは、申請者の将来の職業における発展にどのように役立つでしょうか。

4. 次の各項目について、申請者を評価してください。評価不可能と思われる項目に関しては、空白のままにしてください。

	優秀*	大変よい	普通	普通以下
学業能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リーダーシップ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
奉仕への熱意	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
率先力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
成熟度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
柔軟性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
人前で話す力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

*「優秀」であることを示す具体例を挙げてください。

5. 申請者の学業上の業績を記述し、ロータリー・センターの提携大学で厳しい大学院研究活動に従事する能力を評価してください。

6. 本申請者についてほかに所見があれば述べてください。

氏名 肩書または職位

機関名 機関の所在地

電話 ファックス

Eメール

署名 日付

推薦書式 (タイプしてください)

セクションI — 申請者が記入すること

申請者氏名 _____

地元ロータリー・クラブ/推薦者のロータリアンの住所と氏名

本証明書の対象となるロータリー・センターで使用される言語 (該当する場合) _____

この書式に記された情報を入手する権利を 放棄します 放棄しません (どちらか一つに印を付ける)

申請者の署名

日付

セクションII — 教諭あるいは勤務先の雇用主/上司または専門職務の同僚が記入すること

留意事項: 質問に対して回答できない場合、質問の下の空欄に「評価できない」とご記入ください。

1. 申請者をどのようにして知りましたか。

2. 国際関係、平和、紛争解決分野に対する申請者の熱意はどの程度のものですか。

3. ロータリー世界平和フェローシップは、申請者の将来の職業における発展にどのように役立つでしょうか。

4. 次の各項目について、申請者を評価してください。評価不可能と思われる項目に関しては、空白のままにしてください。

	優秀*	大変よい	普通	普通以下
学業能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リーダーシップ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
奉仕への熱意	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
率先力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
成熟度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
柔軟性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
人前で話す力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

*「優秀」であることを示す具体例を挙げてください。

5. 申請者の学業上の業績を記述し、ロータリー・センターの提携大学で厳しい大学院研究活動に従事する能力を評価してください。

6. 本申請者についてほかに所見があれば述べてください。

氏名

肩書または職位

機関名

機関の所在地

電話

ファックス

Eメール

署名

日付

推薦書式 (タイプしてください)

セクションI — 申請者が記入すること

申請者氏名 _____

地元ロータリー・クラブ／推薦者のロータリアンの住所と氏名

本証明書の対象となるロータリー・センターで使用される言語 (該当する場合) _____

この書式に記された情報を入手する権利を 放棄します 放棄しません (どちらか一つに印を付ける)

申請者の署名

日付

セクションII — 教諭あるいは勤務先の雇用主／上司または専門職務の同僚が記入すること

留意事項: 質問に対して回答できない場合、質問の下の空欄に「評価できない」とご記入ください。

1. 申請者をどのようにして知りましたか。

2. 国際関係、平和、紛争解決分野に対する申請者の熱意はどの程度のものですか。

3. ロータリー世界平和フェローシップは、申請者の将来の職業における発展にどのように役立つでしょうか。

4. 次の各項目について、申請者を評価してください。評価不可能と思われる項目に関しては、空白のままにしてください。

	優秀*	大変よい	普通	普通以下
学業能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リーダーシップ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
奉仕への熱意	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
率先力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
成熟度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
柔軟性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
人前で話す力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

*「優秀」であることを示す具体例を挙げてください。

5. 申請者の学業上の業績を記述し、ロータリー・センターの提携大学で厳しい大学院研究活動に従事する能力を評価してください。

6. 本申請者についてほかに所見があれば述べてください。

氏名

肩書または職位

機関名

機関の所在地

電話

ファックス

Eメール

署名

日付

申請者による誓約

ロータリー世界平和フェローシップ申請者用

私は、ここに、ロータリー財団のロータリー世界平和フェローシップに申請します。(a) ロータリアンおよび名誉ロータリアン、(b) ロータリー・クラブ、地区、国際ロータリー、その他のロータリー関連組織の職員、(c) 前記 (a) および (b) 項の配偶者、直系親族（血縁あるいは法的養子関係にある子や孫）、配偶者の直系親族、尊属（血縁の両親や祖父母）、および (d) クラブを退会してから36カ月未満の元ロータリアンおよびその親族は、申請資格がないことを認識しており、私はこのいずれにも該当せず、申請資格があることを誓います。

ロータリー世界平和フェローシップを受領した場合、私は以下の事項に同意します。

1. 即座に指定されたロータリーセンターの申請手続きを開始し（該当する場合）、付帯条件のない入学許可を取得し、入学許可が得られなかった場合は、授与されたロータリー世界平和フェローシップを辞退すること。
2. 国際ロータリーについて学び、ロータリー世界平和フェローとして次の任務を遂行すること。
 - オンラインのオリエンテーション資料の予習のほか、派遣および受入地区が主催するオリエンテーション・プログラムに出席すること
 - 留学先で全日制の学業に励み、良い成績を維持すること
 - フェローシップの期間前、期間中、帰国後に、多くのロータリアンをはじめロータリー以外の聴衆を前にスピーチを行うこと
 - 地区、ゾーン、および国際的なロータリー行事に参加し、適切とみなされる場合には、ロータリー・プロジェクトに関して助言すること
 - 職業や学業関連の会議において、ロータリー財団を代表すること
 - ロータリー・センターのセミナーに参加し、依頼された場合は、プレゼンテーションを行い、関連した主題についての討論会（大小問わず）に参加すること
 - ほかの世界平和フェローの相談に乗ること
 - 母国および留学先でのマスコミのインタビューに積極的に応じ、自らそのような機会を求めること
 - 学業の進展状況とロータリーの活動についてロータリー財団に所定の報告をすること
 - 将来のキャリアを通じてロータリー財団と関わりを持ち続けること
3. 機会あるごとに国際ロータリーを推進すること。また、フェローシップが支給されている期間中、ロータリー財団が私の氏名、写真、報告書のすべてを使用するのを許可すること。
4. 私の責任において、指定されたロータリー・センター提携大学の入学許可を得ること、必要とされるビザを取得すること、旅行の手配をすること、出発前のすべての準備を時間通りに完了すること。
5. 低所得地区からの申請者として申請費用の補助を受ける資格がある場合を除き、申請あるいはビザの費用、所定の受験料、保険料など、出発前の準備を完了するのに必要なすべての費用を自己負担すること。
6. 指定されたロータリー・センター提携大学のスケジュールに従い、フェローシップによる留学を開始すること。北半球のロータリー・センターにおける修士号プログラムは、7月、8月、あるいは9月に開始され、南半球のロータリー・センターにおける修士号プログラムは、2月あるいは3月に開始されます。専門能力開発修了証プログラムを提供するロータリー・センターは、毎年、1月と6月にプログラムが開始されます。
7. ロータリー財団フェローシップの授与額の決定を受諾し、いかなる状況においてもフェローシップ期間が延期されることはないことを了解すること。
8. 指定されたロータリー・センター提携大学において、ロータリー・センター・セミナーを含め、義務づけられているすべての学業活動と親睦活動に参加すること。
9. 世界平和フェローシップが修士号、あるいは専門能力開発修了証の取得プログラムにのみ資金を提供するものであること。フェローシップ支給期間の終了時には、プログラムを修了し、修士号または修了証を取得すること。また、この修了証が、他国においても認められている同等の学問的基準を備えたものとは限らないこと。
10. 本フェローシップが以下を目的とした資金を提供するものであること。
 - 修士号取得プログラム：入学費、大学が平均的単位数とみなす授業料、およびその他の必要な大学費用（留学先の学生生活に基づいた月々の宿泊費と食費、フェローシップ支給期間の始めと終わりに自宅から留学する都市までの往復旅費、書籍や学用品、予期せぬ出費等を支払うための臨時予備費）
 - 専門能力開発修了証取得プログラム：授業料、指定された宿泊先における宿泊費と食費、実地研修費、学費、医療保険、フェローシップ支給期間の始めと終わりに自国から留学する都市までの往復旅費

11. 学位取得に関連した活動（専攻分野の実地体験、会議、論文の準備等）のための一定額の費用は、修士号候補者がその費用を申請した場合にのみ支払いが考慮されること。
12. フェローシップ支給期間中に配偶者、または扶養家族を伴う場合、その費用は私の個人負担となること。結婚していない相手を同伴してはならないこと。また、カリキュラムに組み込まれている授業や活動には同伴者を伴わないこと。
13. 私のフェローシップに関してロータリー財団管理委員会が下すいかなる決定にも従うこと。
14. 私のフェローシップは、次のいずれの理由によっても取り消される可能性があること：指定されたロータリー・センター提携大学への入学許可を確保することが出来なかった場合（該当する場合）。学業成績のレベルが低い場合。国際ロータリーを代表する一社会人としてふさわしい言動をとることができなかった場合。期日通りに義務づけられた報告書を提出しなかった場合。フェローシップの義務事項を果たせなかった場合。違法行為が明らかになった場合。フェローシップ期間の終了前に当該教育機関を退学した場合。ロータリー財団管理委員会の指示に従わなかった場合。地元のロータリアンからの講演の依頼を拒否した場合。フェローシップに関して義務が遂行できなくなるような不慮の事態が起こった場合。フェローシップの取り消しによって一切の支給が取り止めとなること、また、これまで支払われた金額を返還させられる場合もあると理解していること。
15. 国際ロータリー、ロータリー財団、個々のロータリー・クラブ、ロータリアン、および提携大学は、奨学生個人の生活の福利厚生に対する責任は一切なく、またフェローシップ期間を超えて研究を継続させる責任も一切ないこと。国際ロータリーおよびロータリー財団は、フェローシップを支給する以外に何らの責任も義務も負っていないこと。
16. ロータリー世界平和フェローシップを授与された場合、ロータリー財団が私の居所を常に把握しておけるようにすること。

申請者氏名

申請者の署名

日付

ロータリー・クラブによる推薦

世界平和フェローシップ申請者用

クラブ名 _____ ロータリー・クラブは、

市 _____ 都道府県 _____ 国 _____

申請者氏名 _____ さんをロータリー世界平和フェローシップに推薦し、

指示に従い本申請書を適切な地区役員へ提出します。ロータリー財団委員会はこの申請者と直接面接を 行いました 行ないませんでした (いずれかに印を付ける)。行わなかった場合はその理由を説明し、候補者を電話やほかの方法で面接したかどうかを述べてください。

ロータリー世界平和フェローシップの各受領者には、派遣地区のカウンセラーが任命されます。派遣地区のカウンセラーは知識豊かなロータリアンで、フェローシップの開始前から支給期間中、また帰国後を通じて、フェローを援助し、相談役を務めます。

この申請者がフェローシップを受領した際には、クラブ会長が下記のロータリアンを派遣地区のカウンセラーとして、地区ガバナーへ推薦します。

派遣側カウンセラー _____
氏名

番地 _____

市町村 _____ 都道府県 _____

国名 _____ 郵便番号 _____

自宅電話 _____ 自宅ファックス _____

勤務先電話 _____ 勤務先ファックス _____

Eメール _____

留意事項: 派遣側カウンセラーが上に記入されていない場合、クラブ会長がフェローの派遣側カウンセラーとして指定されます。

クラブ会長の氏名 (わかりやすい字体ではっきりとご記入ください) _____

クラブ会長の署名 _____ 日付 _____

電話 _____ ファックス _____

Eメール _____

派遣クラブの会長は、地区担当役員に本申請書を転送する前に、クラブ用の控えとして本申請書の全ページのコピーをとってください。申請者がサルバドル大学を志望している場合は、英語とスペイン語で各1部ずつ申請書を提出する必要があります。日本への留学を志望している申請者は、英語の申請書を提出することになります。

地区委員会面接報告書

地区委員会面接報告書は、世界競争制に基づく選考委員会にとって極めて重要な情報資料となります。従って、この報告書には詳細かつ正確に記入してください。ロータリー財団に提出された申請書に添えられた委員会報告書に不備があった場合は、選考委員会による正式な審査の対象とならない可能性もあります。

1. 地区で受理した申請書の数： _____
2. 地区ロータリー世界平和フェロー小委員会はこの申請者と直接面接を 行いました 行ないませんでした (いずれかに印を付ける)。小委員会が面接を行わなかった場合は、その理由を説明し、候補者を電話やほかの方法で面接したかどうかを述べてください。
3. この候補者と面接して、優秀なロータリー世界平和フェローになれると地区小委員会が判断したのは、候補者のどのような資質ですか。
4. 候補者は、1つの、または複数のロータリー・センターのカリキュラムについてどの程度知っていますか。また、候補者が特定のセンターを選んだ理由は何ですか。
5. 候補者は、どのようにリーダーシップの資質を示し、平和と紛争解決に対する熱意を見せましたか。また、面接においてそのような資質をどの程度効果的に伝えることができましたか。

6. 候補者の学歴、職歴、リーダーシップ、およびプログラムの目的に対する熱意から判断して、候補者は、政府、企業、教育、報道関係、または本人の選ぶ職業において将来、指導的立場に就く可能性をどの程度秘めていると考えますか。候補者は、世界理解と平和にどのように貢献できると思いますか。

7. この候補者は、どの程度効果的にロータリーを代表できるでしょうか。候補者は、国内外の行事や学会における積極的な参加者としてロータリーを代表する能力を備えていますか。

8. 本候補者についてのユニークな点は何ですか。ほかの候補者ではなく、この候補者を選んだ理由は何ですか。

地区ロータリー世界平和フェロシップ小委員会は、本申請書をロータリー財団に提出する前に、記録のため、本申請書の全ページのコピーをとってください。申請者は、申請書一式を、それぞれの志望留学先の言語で、1部ずつ記入するよう義務づけられています（日本、あるいはタイでの勉学を志望する申請者は、必ず英語で申請書を記入してください）。申請書式の第7ページの右上に、地区番号を記入してください。

申請書類をホチキスで留めたり、綴じたりしないでください。

地区による推薦書 (続き)

当地区は、ロータリー世界平和フェローシップに本候補者を推薦し、また、上記の条件を本人に説明したことを証明します。この推薦については地区ガバナー・エレクトに報告済みです。

地区ガバナーの氏名 (わかりやすい字体で)

電話番号

ファックス

Eメール

地区ガバナーの署名

日付

地区

以下に、地区ロータリー財団委員長もしくは世界平和フェローシップ小委員会委員長の署名が必要です。

地区ロータリー財団委員長

地区ロータリー財団委員長の氏名 (わかりやすい字体で)

電話番号

ファックス

Eメール

地区ロータリー財団委員長の署名

日付

地区

または

世界平和フェローシップ小委員会委員長

地区世界平和フェローシップ小委員会委員長の氏名

電話番号

ファックス

Eメール

地区世界平和フェローシップ小委員会委員長の署名

日付

地区

本推薦書を提出する前に、クラブと地区による推薦書を添え、記入漏れのないことをご確認ください。できるだけEメールまたはファックスでご提出ください。地区の推薦を受けた2010年度ロータリー世界平和フェローシップ申請書の締切日は、2009年7月1日(ロータリー財団必着)です。



**THE ROTARY FOUNDATION
OF ROTARY INTERNATIONAL**

One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
www.rotary.org/rotarycenters
Fax: +1-847-556-2141
rotarycenters@rotary.org